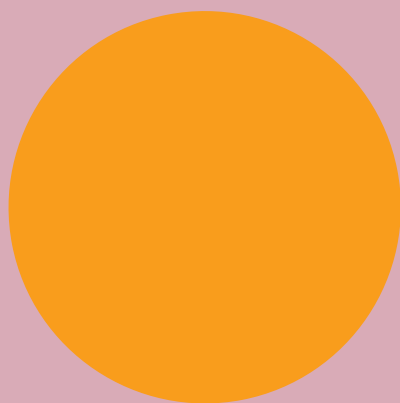


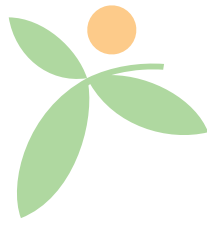
令和6年度（2024年度）

わかりやすい決算書

主要施策の成果報告書



宮若市



ごあいさつ

市民の皆様には、ご健勝にて、ご活躍のこととお慶び申し上げます。

宮若市では、市民目線、市民主体の市政運営のもと、市民の皆様とまちづくりに関する情報を共有し、市民参加による協働のまちづくりを推進しています。

このたび、令和6年度に皆様の税金がどのように使われたのかをまとめた「わかりやすい決算書～主要施策の成果報告書～」を作成いたしました。

この「わかりやすい決算書」は、私が「第2次宮若市総合計画後期基本計画」に掲げるまちづくりの5つの重点的な取り組みテーマを中心として構成し、どのような事業にどのくらいのお金が使われたのかをわかりやすく紹介しています。

令和6年度においては、エネルギーや食料品等の物価高騰が続く中、皆様の生活を支援するため、国の交付金等を活用した給食費の無償化やプレミアム商品券の発行などを進めました。

また、人口減少対策として、新たな定住促進制度「住宅取得補助金」の創設、観光振興策として、国の補助制度を活用し交流人口・関係人口の拡大を図るため、AI開発センター（MUSUBU AI）内交流スペースの整備、そして、公共交通の利便性向上の観点から、宮田バス停交流スペースの整備など各施策を推進してまいりました。

宮若市は、令和7年度に市制施行20周年を迎えます。「第2次宮若市総合計画後期基本計画」に基づき、「ひと・みどり・産業が輝く ふるさと宮若」の実現に向けて、着実に歩みを進めています。

今後も市の未来に責任を持ち、現実の諸課題に真摯に対応し、皆様に「宮若よかところ」を一段と実感していただけるよう、市民目線、市民主体のもと市民参加による協働のまちづくりを職員と一丸となって進めてまいります。

今後とも一層のご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健康とご多幸、そして、宮若市の限りない発展を祈念し、ご挨拶といたします。

令和7年8月

宮若市長
塩川秀敏



もくじ

宮若市一般会計決算	2
グラフで見る財政状況	6
テーマ1 スポーツ、芸術・文化、健康長寿のまちづくり	8
スポーツ	
芸術・文化	
健康長寿	
テーマ2 個性的で活力に満ちた、コミュニティのまちづくり	10
個性に満ちたコミュニティ	
定住人口・関係人口	
地域防災	
公共交通の利便性の向上と利用促進	
テーマ3 産学官民の協働で、元気な産業・環境のまちづくり	12
産学官民の協働	
観光の振興	
環境保全	
テーマ4 安心子育てと豊かな教育、人材育成のまちづくり	14
子育て支援の充実	
学校教育の充実	
地域社会・企業との連携	
テーマ5 市民目線と、不断の行財政改革推進のまちづくり	16
その他の主要事業	16
自然環境	
生活基盤・都市基盤	
産業	
保健・福祉	
教育・文化	
市民協働・コミュニティ	
特別会計 決算概要	20
ダイヤルガイド	23
宮若市市民憲章・宮若市歌「輝くふるさと」	24

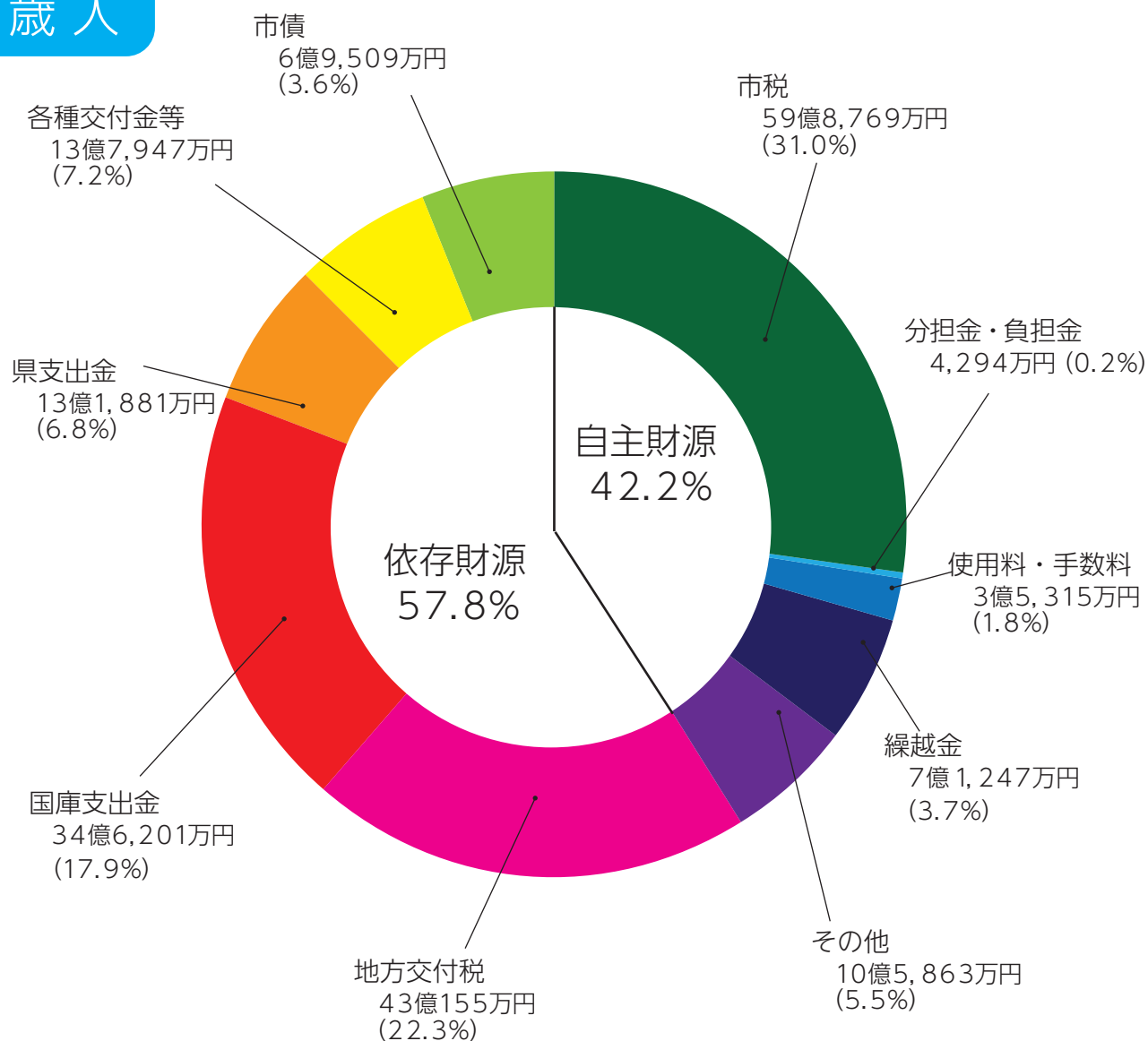
令和6年度 宮若市一般会計決算

歳入 193億1,181万円

歳出 177億9,315万円

差引 15億1,866万円

歳入



歳入決算のポイント



●「市税」は、企業収益の回復により法人市民税が増加しています。

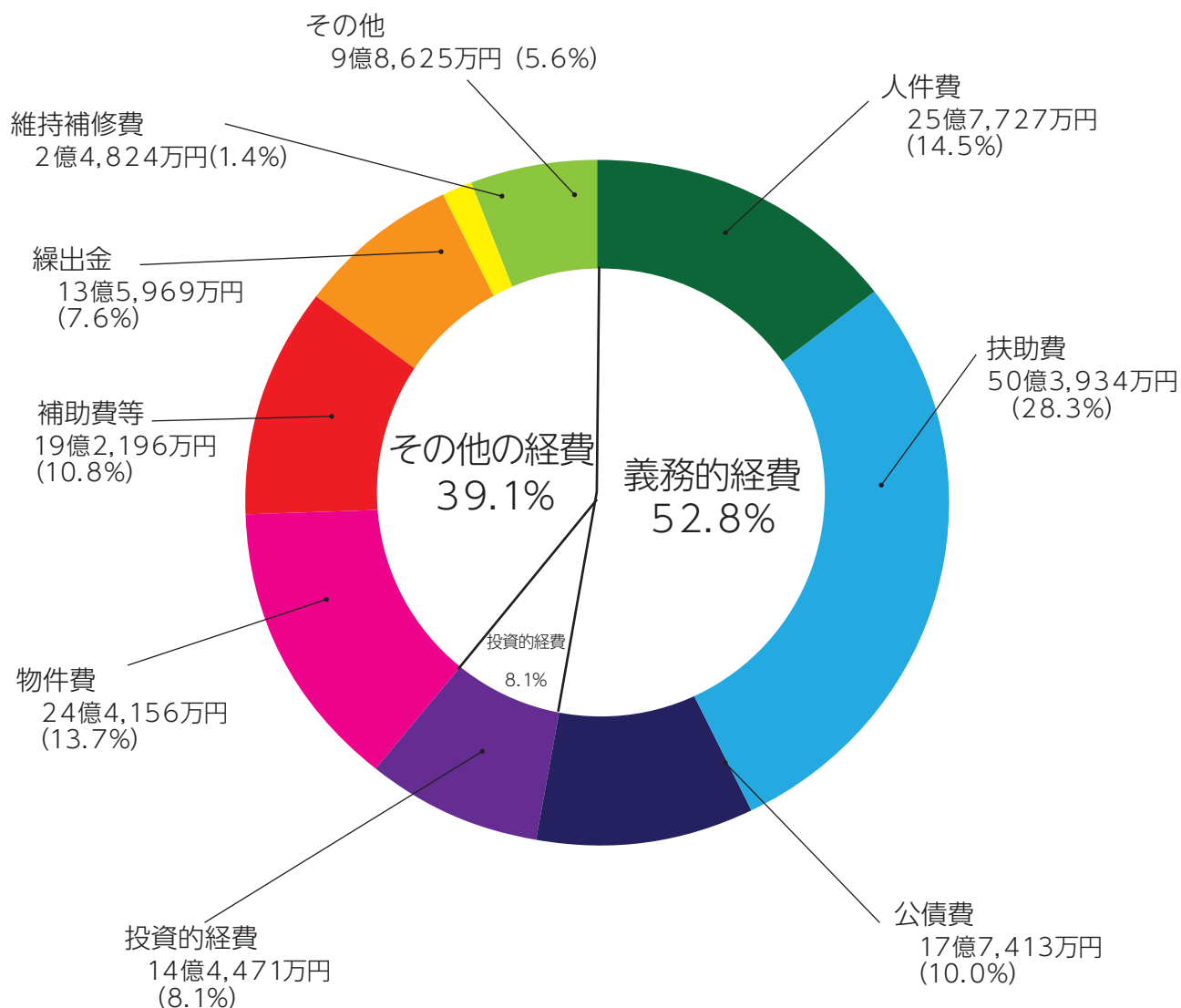
●「地方交付税」は、前年度の法人市民税減少の影響により増加しています。

●「市債」は、鶴田地区排水施設整備事業や小学校大規模改造事業の完了などにより減少しています。

【歳入項目】

項 目		説 明
自主財源	市が自主的に調達できる収入であり、多いほど財政が安定し、市独自の事業をより多く行うことができます。	
	市 税	個人市民税 個人の所得などに応じて納めていただく税金です。
		法人市民税 会社の収益などに応じて納めていただく税金です。
		固定資産税 土地や家屋などを所有している方に、納めていただく税金です。
		軽自動車税 軽自動車を所有している方に、納めていただく税金です。
		市たばこ税 たばこを買った方に、納めていただく税金です。
		入湯税 温泉を利用した方に、納めていただく税金です。
	分担金・負担金	特定の行政サービスを実施することで利益を受ける方から、受ける利益に応じて負担していただくお金です。
	使用料・手数料	公共施設の利用や各種証明書などを発行するときに、納めていただくお金です。
	繰越金	前年度から繰り越したお金です。
	その他	主に基金(貯金)の取り崩しや寄附金などです。
依存財源	国や県から交付されたり、割り当てられたりする収入です。	
	地方交付税	地方自治体が一定水準の行政サービスを提供できるように、必要なお金を国が保障するものです。国に納めたお金(所得税など)の一定割合が配分されます。
	国庫支出金 県支出金	特定の目的を行うため、国や県から使いみちを指定されて配分されるお金です。福祉や教育などに関する国や県の負担金、補助金などがあります。
	交付金	国や県に納めたお金(自動車に関する税金や消費税など)から配分されるものです。地方消費税交付金などがあります。
	市債	国や銀行などからの借入金です。道路や小中学校などの建設費用をまかなうため借り入れます。

歳出



歳出決算の ポイント



●「人件費」は、人事院勧告に基づく給与改定や会計年度任用職員への勤勉手当の支給により増加しています。

●「扶助費」は、障がい福祉サービス費や定額減税補足給付金が増加しています。

●「投資的経費」は、鶴田地区排水施設整備事業や小学校大規模改造事業の完了などにより減少しています。

【歳出項目】

項 目	説 明
義務的経費	支出が義務づけられていて任意に削減できない経費です。
	人件費 職員の給与費や議員、会計年度任用職員の報酬などです。
	扶助費 生活保護費、障がい福祉サービス費、児童手当、医療費助成、就学援助費など、児童・高齢者・障がい者・生活困窮者への支援に関係する経費です。
	公債費 事業を行うために国や銀行などから借り入れた市債(借金)の返済金です。
投資的経費	道路や小中学校などの整備費や改修費、災害により被災した施設の復旧費など、社会資本の整備に関係する経費です。
その他の経費	義務的経費及び投資的経費以外の経費です。
	物件費 健康診断やごみ収集実施のための業務委託料、小中学校、公園、市役所庁舎の光熱水費などです。
	補助費等 個人や各種団体への補助金、消防署やじん芥処理施設組合への負担金です。
	繰出金 国民健康保険特別会計や介護保険広域連合への支出金です。
	維持補修費 小中学校、道路・公園、市営住宅、公民館、図書館などの施設修繕に係る経費です。
	その他 主に基金(貯金)への積立金や緊急に支出を必要とする場合に備えて用意している予備費などです。

【歳出の目的別内訳】

議会費

1億5,046万円

(市議会の運営)

総務費

28億4,696万円

(市の全般的な仕事)

民生費

70億7,994万円

(社会福祉や児童福祉)

衛生費

12億9,361万円

(保健衛生や環境保全)

農林水産業費

8億651万円

(農林業の振興)

商工費

5億2,292万円

(商工業や観光の振興)

土木費

12億6,525万円

(道路や公園等の整備)

消防費

4億9,963万円

(防災・消防・救急など)

教育費

14億3,078万円

(学校教育や社会教育)

災害復旧費

1億2,296万円

(災害の復旧など)

公債費

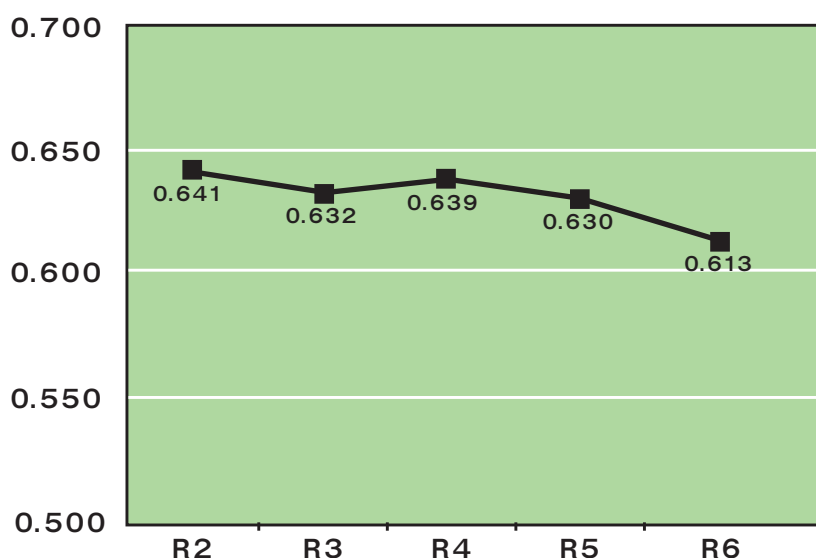
17億7,413万円

(借り入れたお金の返済)

グラフで見る財政状況

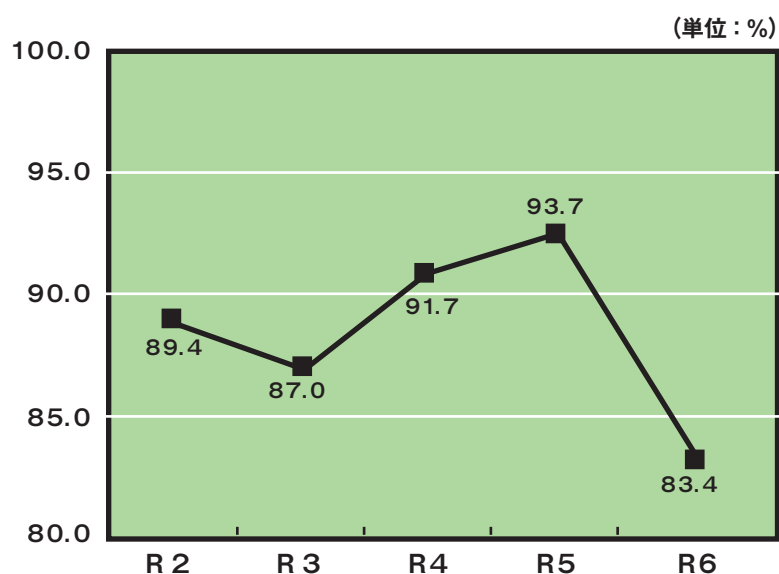
宮若市の財政指標をグラフで見てください。経年変化を追うことで市の財政が好転しているのか悪化しているのかを捉えることができます。

財政力指数



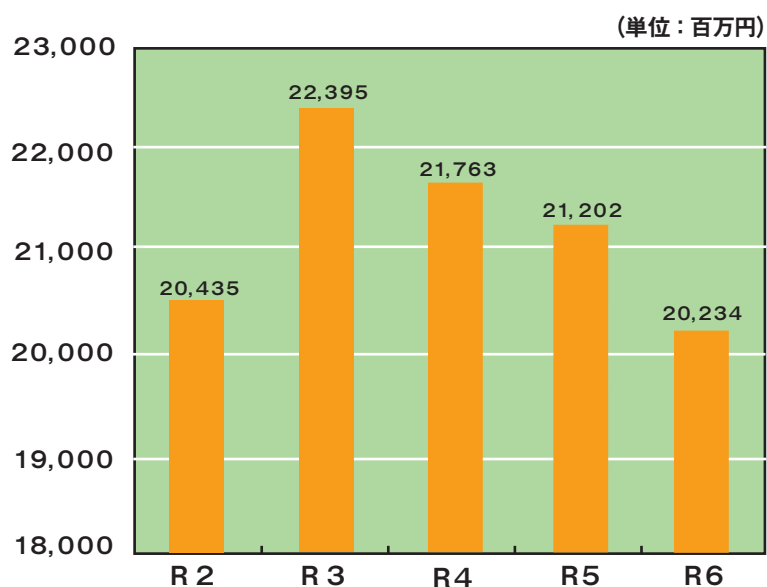
財政力指数は財政の自立性を測るもので、「1」に近づくほど財源に余裕があるといえます。人事院勧告に基づく人件費の増加や前年度の法人市民税が減少した影響により、低くなりました。

経常収支比率



経常収支比率は、財政構造の弾力性を表すもので、安定して収入される財源に占める固定的に支出される経費の割合です。数値が低いほど柔軟な財政運営ができるといえます。法人市民税や普通交付税などの収入が増加したため、低くなりました。

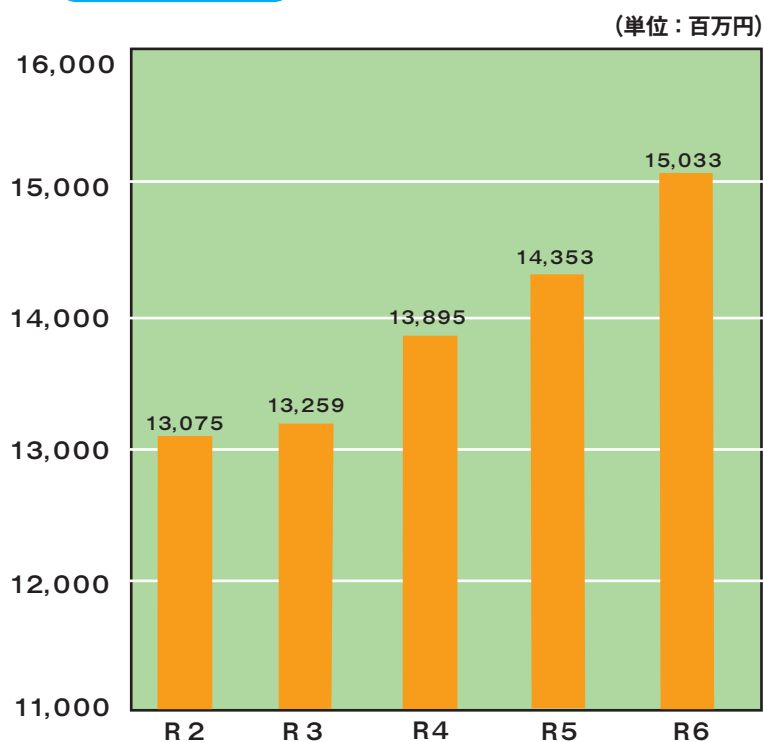
市債残高



市債とは市の借入金のことです。長年にわたって使用する公共施設については、将来その施設を使う人にも平等に負担してもらう目的もあります。

新たな借入額より返済額が上回ったため、減少しました。

基金残高



基金とは、市の貯金のことです。

経済情勢の著しい変動等による収支の悪化に備えるための財政調整基金やその他特定の事業を行う目的で積み立てを行っている基金などがあります。

施設整備等基金などへの積み立てにより増加しています。

「第2次宮若市総合計画後期基本計画」に掲げる5つの重点的な取り組みテーマを中心として、主な決算と事業内容についてご紹介します。

テーマ1 スポーツ、芸術・文化、健康長寿のまちづくり

健康長寿で誰もがスポーツや文化活動を楽しみ、地域の歴史・伝統を誇りに思う心身ともに豊かな生活・賑わいのあるまちづくりに取り組みました。

スポーツ

■ スポーツフェスタ、運動教室などの スポーツイベント（社会教育課） 291万円

スポーツフェスタなど幅広い世代の市民が参加できる様々なイベントを開催し、スポーツ機会の拡大に努めました。



■ 誰もが気軽に参加できるレクリエーションなどの普及啓発（社会教育課） 162万円

誰もが気軽に親しめるニュースポーツ、レクリエーション、障がい者スポーツの普及啓発を図るため、広報紙、ホームページなどを通じて情報発信を行いました。

芸術・文化

■ 芸術文化活動の推進（社会教育課） 183万円

身近に芸術文化に触れる機会を提供するため、文化祭、地域住民のためのコンサートなど芸術文化活動の充実を図りました。

■ 文化・芸術団体等との連携・支援（社会教育課） 60万円

文化連盟や個々の文化・芸術団体などとの連携や支援の強化を図りながら、文化・芸術の振興に努めました。

■ 歴史・文化財保護ボランティアの養成と支援（社会教育課） 8万円

歴史・文化財保護ボランティア養成講座の開催を通して、新たなボランティアの育成を支援するとともに、文化財の活用による交流を図りました。

■ 文化財の整備・保存の推進（社会教育課） 689万円

国指定史跡の竹原古墳や県指定史跡の損ヶ熊古墳など、文化財の適切な保存管理に努めるとともに、文化財収蔵・展示・交流センター（宮若トレッジ）は施設北側入口の整備を行い、来場者の利便性向上を図りました。



健康長寿

■ がん検診・健康診断等の実施（健康福祉課） 2,122万円

がんの早期発見や生活習慣病予防のため、がん検診や特定健診、若年層や後期高齢者の健診などを実施。各健診対象者向けの受診勧奨を行い受診率向上に努めました。

■ アピアランスケア推進事業（健康福祉課） 9万円

がん治療に伴う外見の変化による社会生活上での苦痛に対し、外見の変化を補完するための医療用ウィッグや補整具等の購入費用を助成しました。

■ みやわか健康ポイント事業の充実（健康福祉課） 200万円

自主的な健康づくりを支援するため、健康づくりに関する事業に参加することでポイントを獲得し、ポイント数に応じて応募者全員に記念品を贈呈しました。

■ 介護予防活動の推進（健康福祉課） 5,709万円

市民が健康で生きがいをもって生活を送ることができるよう、介護予防教室などの介護予防事業を通して、要介護状態の予防、軽減、悪化防止のための支援を行いました。

■ 高齢者大学の開催（社会教育課） 59万円

アクティブシニアの経験や知識を地域に活かせるよう、高齢者を対象とした講座を開催し、学習機会の充実を図りました。

■ 高齢者運転免許証自主返納支援事業（健康福祉課） 30万円

運転免許証を自主返納した高齢者に対し、宮若市乗合バス回数券またはタクシー乗車券または交通系 IC カード乗車券を交付しました。

テーマ 2 個性的で活力に満ちた、コミュニティのまちづくり

少子高齢化が進む中、地域の担い手不足や自治会加入率の減少などにより、地域コミュニティの基盤が脆弱になってきています。

それぞれの地域の個性を活かして課題を解決し、誰もが安心・安全な生活を送ることができる地域共生社会（コミュニティ）づくりに取り組みました。

個性に満ちたコミュニティ

■ 地域コミュニティ活動の活性化

（まちづくり推進課）

9万円

個性が輝くコミュニティ組織を目指し、各ブロック協議会組織の再構築や持続可能なコミュニティ活動についてブロック協議会においてワークショップを開催しました。



■ ブロック協議会の運営支援

（まちづくり推進課）

114万円

協働のまちづくりを推進するため、職員と地域の協力による職員地域担当制度を通して、様々なイベントを実施し、地域活性化を図りました。

■ コミュニティ活動の支援（まちづくり推進課）

51万円

コミュニティ組織などが自主的に行うコミュニティ活動（文化・体育活動、住環境の保全対策活動など）に対して助成を行いました。

■ 吉川コミュニティセンターの整備（社会教育課）

341万円

地域住民の交流・活動拠点として、吉川地区にコミュニティセンターを整備するため、測量調査を行いました。

定住人口・関係人口

■ 定住促進施策の推進（まちづくり推進課）

1億79万円

持続可能なまちづくりのため、定住奨励金、家賃補助制度、令和6年度に創設した住宅取得補助金の交付及びPR活動を行い、本市への定住人口増加の取り組みを行いました。

■ シティプロモーション動画の制作

(秘書政策課)



128万円

市制施行20周年に向けて、本市の魅力を広域的に発信し、認知度向上や定住・来訪意欲の向上に繋げるため、プロモーション動画の作成に着手しました。



〈市公式YouTube〉



地域防災

■ 消防団を核とした地域防災力の充実 (総務課)

5,055万円

地域防災の要である消防団について、団員の加入を促進するため、消防団員の処遇改善に向けて、団員及び班長の年額報酬を引き上げ、火災などの災害における出動報酬を増額しました。また、第1分団の消防車両を更新し、設備の充実を図りました。

■ 防災意識の醸成と防災体制の強化 (総務課)

407万円

自助・共助・公助の理念に基づいた地域防災力の向上に向け、自主防災組織の設立・育成に取り組みました。また、防災行政無線をはじめとした、多様な情報伝達手段を有効に活用し、迅速で的確な情報伝達に努めました。

■ 鶴田地区内水対策事業 (土木建設課)

3,050万円

大雨時、慢性的に冠水している鶴田地区の内水対策を進め、災害の発生予防・拡大防止を図りました。

公共交通の利便性の向上と利用促進

■ AI デマンドタクシーと公共交通網の確保 (産業観光課)

1億1,346万円

利便性向上と経費抑制の観点から、予約制のAIシステムを活用したデマンド型区域運行方式を公共交通の軸とし、利用者のニーズに沿った運行の見直しや改善に努めました。

■ 宮田バス停交流スペースの整備 (産業観光課)

4,342万円

宮田バスセンター跡地に、観光発信や地域交流の場と待合所を兼ねた宮田バス停交流スペースを整備しました。

テーマ3 産学官民の協働で、元気な産業・環境のまちづくり

経済は市民の暮らしや市政の基盤です。産業界（民間企業）、学校（教育・研究機関）、官公庁（国・地方自治体）、民間（地域住民・NPO）の四者の連携・協働による元気な産業・環境のまちづくりに取り組みました。

産学官民の協働

■ 宮若うまい米コンクールの実施（農政課）

100万円

宮若うまい米コンクールを引き続き実施するとともに、宮若オリジナル米袋を活用することで、宮若産米の効率的なPRやブランド化の推進に努めました。



■ 新規創業に対する支援（産業観光課）

104万円

市内での創業を支援し、地域経済の活性化と雇用の創出を図るため、商工団体が開催する創業スクールを受講した新規事業者に対して、開設に係る費用の一部を補助しました。

■ 地域振興券発行事業の支援（産業観光課）

3,201万円

宮若商工会議所、若宮商工会が実施したプレミアム付振興券発行事業（30%のプレミアム分を含め、総額1億9,500万円分）を支援し、地域経済の活性化を図りました。

■ 企業誘致の推進（まちづくり推進課）

5,059万円

福岡県と連携し、宮若北部工業用地造成事業に取り組む一方で、新たな企業進出の受け皿となる産業用地適地調査を実施するなど、企業誘致に努めました。

■ 学校跡地の利活用整備事業（秘書政策課、学校教育課）



2,625万円

学校跡地の利活用について、旧宮田小学校、旧宮田東小学校等施設は、施設の解体に向けた準備に着手しました。また、旧若宮小学校の跡地利活用に向けた基本構想を策定するとともに、施設解体に向けた準備に取り組みました。

観光の振興

■ 観光資源の磨き上げ（産業観光課）

5,328万円

地域と一体となり、観光地の再生・観光サービスの高付加価値化を推進するため、国の補助制度を活用し、AI開発センター（MUSUBU AI）内に交流スペース（ラウンジ）を整備したほか、脇田地区の観光施設の環境整備を行いました。

■ 観光関係団体との連携事業（産業観光課）



1,809万円

本市の観光戦略の基盤構築を図るため、観光関係団体の統合に向けて協議を進めるとともに、国の制度を活用した専門人材を配置し、新組織を設立しました。

環境保全

■ 資源物拠点回収事業の実施（環境保全課）

809万円

ごみの減量化・リサイクルを推進するため、毎月第2・第4日曜日に市内2か所（市役所本庁及び若宮総合支所）で資源物拠点回収を実施しました。



■ リサイクル活動の推進（環境保全課）

186万円

ごみとして処理されている古紙などを再資源化して有効活用するため、資源回収活動団体に補助金を交付しました。

■ 生ごみ処理機器の購入者支援事業（環境保全課）

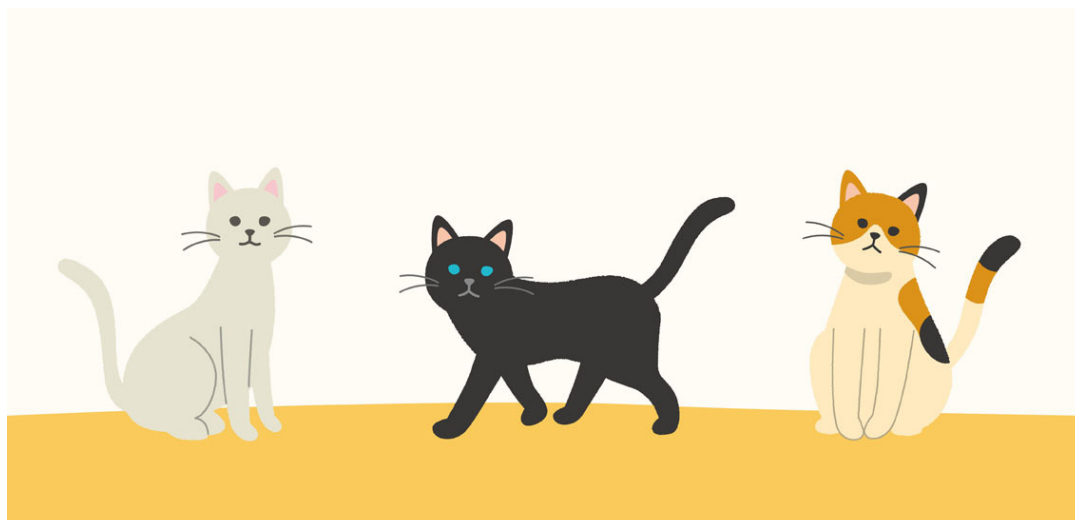
44万円

ごみとして処理されている生ごみの有効利用と減量化を推進するため、生ごみ処理容器を購入し自家処理する人に対し補助金を交付しました。また、ダンボールコンポストの活用方法などについて、専門家を招いて講座を開催しました。

■ 飼い主のいない猫の不妊去勢手術費補助事業（環境保全課）

5万円

猫の過剰な繁殖に伴う殺処分を減らすとともに、糞尿等による近隣被害を防止し、市民の動物に対する愛護意識の高揚と快適な生活環境の保持に資することを目的とし、飼い主のいない猫に不妊・去勢手術を施した方に対し、補助金を交付しました。



テーマ4 安心子育てと豊かな教育、人材育成のまちづくり

「宮若の子どもは宮若で責任を持って育てる」の精神の基、社会全体で子育てを支援する環境の整備に努めるとともに、教育の充実を図り、心身共に社会人として逞しく生きる人材を育てる環境の整備に取り組みました。

子育て支援の充実

■ 第2子保育料の無償化（こども家庭課）

1,698万円

令和5年9月から開始した、認可保育施設や届出保育施設に登園する第2子の保育料負担金の無償化を継続し、多子世帯の経済的な負担を軽減しました。



■ 宮若市こども計画の策定に向けた取組（こども家庭課）



247万円

子どもに関する施策を総合的に推進していくための「宮若市こども計画」の策定に向けて、アンケート調査を実施しました。

■ 伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的な実施（こども家庭課）

1,466万円

全ての妊婦や子育て世帯が安心して、出産・子育てができるよう、きめ細やかな伴走型相談支援と、出産・子育て応援給付金による経済的な支援を一体的に行いました。

■ 子育て支援センターの充実（こども家庭課）

7,725万円

子育て支援センターが地域の子育て支援の拠点として、子育ての負担軽減が図れるよう、一時預かり事業や子育て相談、親子の交流の場となる活動を行いました。

■ 保育サービスの実施（こども家庭課）

7億3,124万円

認可保育施設での通常保育を実施するほか、延長保育や幼稚園における預かり保育など、保護者のニーズに沿った保育サービスの提供に向けた支援を行いました。

■ 学童保育所の運営（こども家庭課）

1億69万円

社会福祉協議会と連携し、市内4か所の学童保育所の安定的な運営に努めました。

■ 給食費無償化事業（学校教育課）

9,112万円

1年間を通して、学校給食費の無償化を行いました。

■ 保育士の確保・離職防止に向けた取組（こども家庭課） 2,187万円

保育実習に係る交通費や新人保育士応援給付金などの支給により保育士の確保に努めました。また、保育士の負担軽減のため、保育補助者の雇用にかかる経費やICT化推進のための経費に補助を行いました。

学校教育の充実

■ 教育施設の整備（学校教育課） 3,984万円

児童生徒の熱中症対策や避難所機能の充実のため、中学校武道場の空調設備を整備することとし、令和6年度は宮若東中学校の空調設置工事を行いました。

■ 確かな学力の育成（学校教育課） 1,650万円

幼稚園・小中学校が同じ目標に向かって共通の取組を推進し、子どもたちの生活習慣、学校教育の基盤づくりと学力向上を目指すため、学力向上プロジェクトE事業など様々な取り組みを進めました。

■ 特別支援教育の充実（学校教育課） 3,337万円

医療的ケアや特別な支援が必要な子どもたちに、特別支援教育支援員の配置を行うなど、適切な教育支援を行いました。



地域社会・企業との連携

■ 放課後学習の充実（学校教育課） 835万円

放課後学習「みやわかアフター・スクール」を全小中学校で実施。また、民間の学習塾の学習指導を受けることができる「MUSUBUスクールみやわか」を実施し、子ども達の学習支援を行いました。

■ 部活動の地域移行に向けた取組（学校教育課、社会教育課） 20万円

地域の実態に応じた中学部活動の地域移行や地域との連携について、学識経験者や体育協会、文化連盟、学校及び行政などの関係者による協議会を設置し、地域移行の方針や地域指導者の確保について協議を行い、地域においてスポーツ・文化芸術に継続して親しむことができる環境づくりに取り組みました。

■ 将来を担う人材の育成（秘書政策課） 87万円

直轄地域2市2町での広域事業として、中・高校生を対象としたITプログラミング教室や、宮若市・宗像市・トヨタ自動車九州株式会社との3者による交流事業など多様な機会を創出し、将来を担う人材の育成に努めました。

テーマ5 市民目線と、不断の行財政改革推進のまちづくり

少子高齢化の進展による市税収の減少や社会保障関連経費の増大が見込まれる中、行財政改革を不断に行い、最小の経費で、最大の効果を上げる行政運営に努め、将来にわたり持続可能な行財政基盤の構築に取り組みました。

■ 市制施行 20 周年記念に向けた取り組み (秘書政策課)

NEW

92 万円

令和7年度に市制施行20周年を迎えることから、レインボーカンパニーの記念公演に向け、脚本作成などの準備を進めました。

■ 生成 AI を活用した取組 (デジタル戦略課)

NEW

770万円

市民向けに生成 AI を活用した新たなチャットボットを公開して、知りたい情報をより簡単かつ正確に検索できるようになりました。



■ 第3期総合戦略及び人口ビジョンの策定 (秘書政策課)

NEW

14万円

地方創生の更なる推進を図るため、第3期となる「総合戦略」及び「人口ビジョン」の策定に取り組みました。

その他の主要事業

自然環境

■ 不法投棄防止対策の推進 (環境保全課)

169万円

監視カメラ・看板の設置などによる不法投棄防止や自治会などによる地域の環境美化活動を支援しました。

■ 空家等対策の推進 (建築都市課)

572万円

空家化の予防や適切な管理などの啓発に努めるとともに、老朽化し危険性の高い空家の解体撤去費用を補助するなど、空家等対策を進めました。

■ 上水道の安定供給 (水道課)

7,175万円

老朽化に伴う配水管の更新や浄水場施設の整備を継続的に進め、良質な水の安定供給に努めました。

■ 下水道の整備 (下水道課)

4億 8,071万円

福岡県が事業主体となる遠賀川中流域下水道事業の進捗状況に併せて、事業認可区域内の幹線管きょや末端管きょなどの整備促進を図りました。

■ 合併浄化槽の整備（下水道課）

2,041万円

汚水処理施設構想に基づき、公共下水道整備区域外において浄化槽の設置を推進しました。

生活基盤・都市基盤

■ 国土調査の実施（土地対策課）

1億2,381万円

個人の権利や財産を尊重し、国土の開発、保全、利用の円滑化を図るため、本城・山口地区の地籍簿、地籍図の作成と龍徳・山口地区の一筆地調査、測量調査を行いました。

■ 市営住宅の保安全管理（建築都市課）

1,129万円

市営住宅長寿命化計画に基づき、管理戸数の適正化を図るため、老朽化の著しい空家となった市営住宅の解体工事を実施しました。



■ 幹線道路の整備（土木建設課）

2億1,319万円

舗装改修や歩道などの整備を計画的に進め、交通の利便性や安全性、アクセスの向上に努めました。

■ 生活道路の整備（土木建設課）

1億9,753万円

日常生活で利用する生活道路の維持に努めるとともに、経年劣化した道路の舗装整備を行い長寿命化を図りました。

■ 市民と協働した道路環境の保全（土木建設課）

564万円

市民と行政の協働による良好な道路環境の保全推進を目的とした道路愛護推進活動を実施しました。

■ 協働による公園の管理・活用の推進（まちづくり推進課、土木建設課）

3,523万円

犬鳴川河川公園や2000年公園、さくら堤公園は、市民団体や企業などとの協働による管理を行うとともに、イベントの開催などを通じて、市民の交流の場となる公園づくりを推進しました。

■ 犯罪を防止する環境の整備（総務課）

108万円

自治会などによる防犯灯の新設や老朽化などによる取替えを支援し、犯罪を防止する環境の整備を進めました。



産業

- 多面的機能支払交付金の交付（農政課）** **3,228万円**
農村地域の共同活動に支援を行うことで、農用地や水路、農道、ため池などの地域資源の適切な保全管理を推進しました。
- 有害鳥獣被害対策の推進（農政課）** **953万円**
深刻化する農作物などへの鳥獣被害に対して、猟友会などと連携した駆除活動を強化するとともに、電気柵などの設置・補助を行い、被害防除に取り組みました。
- 就農者の育成支援（農政課）** **1,738万円**
農業における生産コスト低減や生産規模の拡大に取り組む認定農業者・営農組織に対し、農業用機械などの導入支援や新規就農者の経営支援を行いました。
- 小規模農地などへの支援（土木建設課）** **30万円**
面積の狭小、湿田化など、耕作不利農地の条件改善のために農家を実施する対象事業に対する補助を行い、増加する耕作放棄地の発生防止に向けた取り組みを推進しました。
- 生活利便性の向上（産業観光課）** **5,073万円**
買い物が困難な地域への支援のため、移動販売車による食材や生活用品の販売を実施しました。また、買い物の利便性と地区拠点の魅力を維持するため、福丸地区のスーパー跡地へトライフーズGOを誘致しました。

保健・福祉

- 社会福祉協議会の活動支援（保護人權課）** **5,040万円**
社会福祉協議会が実施している地域福祉推進事業、ボランティア活動推進事業、各種相談事業、高齢者・障がい者（児）支援事業など、各事業の拡充を支援しました。
- 民生委員・児童委員の活動支援（保護人權課）** **251万円**
市民の生活上の相談や高齢者・子どもの見守りなど、身近な地域福祉活動の中心的な役割を担う民生委員・児童委員の活動を積極的に支援しました。
- 相談体制の充実（保護人權課）** **1,930万円**
生活保護制度に精通した面接相談員を配置し、要保護者からの生活相談に対する指導・助言や生活保護の申請手続きなどの支援を行いました。また、生活困窮者相談支援体制については、生活困窮者への支援充実のため、自立相談支援・家計改善支援・就労準備支援の3事業の相談体制を整え、自立のための包括的な支援を継続して行いました。
- 地域包括ケア体制の確立（健康福祉課）** **6,292万円**
高齢者が自分らしい暮らしを続けることができるよう、生活支援サービスの体制整備や在宅医療、介護連携、認知症施策などに取り組みました。

■ 障がい福祉サービスの提供（健康福祉課）

14億4,259万円

障がいのある人が自立した生活が送れるよう、生活環境の整備や相談・支援体制の充実強化に努めるとともに、各種障がい福祉サービスの提供を行いました。

■ 医療費適正化の推進（市民課、健康福祉課）

2,678万円

特定健診・特定保健指導や歯周病リスク検査、健康教室などを実施することで、生活習慣病の発症・重症化の予防を図るとともに、ジェネリック医薬品の使用を促進することで医療費の抑制に努めました。



教育・文化

■ 地元農産物を活用した学校給食の提供（学校教育課）

377万円

宮若米や宮若牛など、新鮮で安全な地元農産物や畜産物を積極的に学校給食に導入することで、地産地消に取り組みました。



■ 読書活動の充実（社会教育課）

1,247万円

令和7～11年度を計画期間とする「第3次宮若市子ども読書活動推進計画」の策定に取り組みました。また、おはなし会・ブックスタート・家読など、児童書を活用した事業を充実させることで、幼少期の子どもの読書活動を推進しました。

■ 体験学習の充実（社会教育課）

72万円

異学年や他校の児童とともに工作や調理、スポーツなどさまざまな活動を体験するわいわいサークルやサマーチャレンジ、スプリングチャレンジを開催しました。

市民協働・コミュニティ

■ 人権教育・啓発の促進（社会教育課、保護人権課）

235万円

人権講演会や地域懇談会、人権の花運動などを実施し、身近な差別に気づき、お互いの人権が尊重される地域づくりを推進しました。



特別会計 決算概要

国民健康保険特別会計

歳入総額	32億4,785万円
歳出総額	31億5,015万円
差引残額	9,770万円

歳入

区分	決算額
国民健康保険税	4億5,889万円
使用料及び手数料	9万円
国庫支出金	4万円
県支出金	24億3,990万円
繰入金	2億7,972万円
繰越金	5,381万円
諸収入	1,540万円

歳出

区分	決算額
総務費	6,264万円
保険給付費	22億4,432万円
国民健康保険事業費納付金	7億1,536万円
保健事業費	2,726万円
諸支出金	1億 57万円

後期高齢者医療特別会計

歳入総額	5億5,428万円
歳出総額	5億4,369万円
差引残額	1,059万円

歳入

区分	決算額
後期高齢者医療保険料	3億9,407万円
繰入金	1億4,881万円
繰越金	903万円
諸収入	237万円

歳出

区分	決算額
総務費	627万円
後期高齢者医療広域連合納付金	5億3,651万円
諸支出金	23万円
保健事業費	68万円

吉川財産区特別会計

歳入総額	103万円
歳出総額	85万円
差引残額	18万円

歳入

区分	決算額
財産収入	4万円
繰入金	80万円
繰越金	19万円

歳出

区分	決算額
総務費	63万円
財産費	22万円

水道事業会計

(1) 収益的収入及び支出

収 入 5億348万円

区分	決算額
給水収益	4億1,251万円
受託工事収益	817万円
その他の営業収益	38万円
負担金	1,904万円
他会計補助金	24万円
水道加入金	258万円
長期前受金戻入	5,929万円
雑収益	57万円
特別利益	70万円

支 出 4億6,437万円

区分	決算額
原水及び浄水費	1億3,387万円
配水及び給水費	5,805万円
受託工事費	817万円
総係費	3,858万円
減価償却費	1億9,044万円
支払利息及び企業債取扱諸費	1,744万円
消費税及び地方消費税	1,712万円
特別損失	70万円

(2) 資本的収入及び支出

収 入 5,710万円

区分	決算額
企業債	5,610万円
負担金	100万円

支 出 2億3,079万円

区分	決算額
施設改良費	7,240万円
固定資産購入費	375万円
企業債償還金	1億5,464万円

簡易水道事業会計

(1) 収益的収入及び支出

収 入 1億1,043万円

区分	決算額
給水収益	5,189万円
その他の営業収益	6万円
負担金	715万円
他会計補助金	1,800万円
水道加入金	185万円
長期前受金戻入	3,138万円
特別利益	10万円

支 出 1億841万円

区分	決算額
原水及び浄水費	1,379万円
配水及び給水費	184万円
総係費	3,606万円
減価償却費	5,197万円
支払利息及び企業債取扱諸費	318万円
消費税及び地方消費税	147万円
特別損失	10万円

(2) 資本的収入及び支出

収 入 2,931万円

区分	決算額
他会計補助金	2,700万円
負担金	231万円

支 出 4,908万円

区分	決算額
建設改良費	348万円
企業債償還金	4,560万円

下水道事業会計

(1) 収益的収入及び支出

収 入 4億3,924万円

区分	決算額
下水道使用料	6,517万円
雨水処理負担金	821万円
その他の営業収益	22万円
受取利息及び配当金	7万円
他会計負担金	1億6,589万円
他会計補助金	7,526万円
補助金	230万円
長期前受金戻入	1億 219万円
消費税還付金	1,917万円
雑収益	54万円
特別利益	22万円

支 出 4億1,382万円

区分	決算額
管渠費	175万円
ポンプ場費	463万円
業務費	67万円
総係費	4,863万円
流域下水道維持管理負担金	9,107万円
減価償却費	2億1,800万円
固定資産除却費	15万円
支払利息及び企業債取扱諸費	4,741万円
雑支出	128万円
特別損失	23万円

(2) 資本的収入及び支出

収 入 4億7,640万円

区分	決算額
企業債	2億 350万円
国庫補助金	1億7,560万円
負担金及び分担金	2,867万円
他会計負担金	2,664万円
他会計補助金	4,199万円

支 出 6億4,412万円

区分	決算額
建設改良費	4億8,072万円
企業債償還金	1億6,340万円

宮若市役所 ダイアルガイド

事業の内容の詳細などは、お気軽にこちらまでおたずね下さい。

本庁舎 TEL 0949-32-0510 (代) FAX 0949-32-9430

課 名	係 名	業務内容	電話番号
総 務 課	総務係	議案、条例・規則等の制定改廃、文書管理、情報公開、個人情報保護、選挙管理委員会など	32-0511
	人事係	職員の人事、給与、研修、福利厚生、衛生管理、安全管理、組織管理など	
	防災安全係	消防、防災、防犯、交通安全など	
デジタル戦略課	情報政策係	情報システムの開発管理、情報セキュリティ対策、ICTの利活用など	32-1072
管 財 課	財産管理係	市有財産管理、庁舎管理など	32-0761
	契約検査係	契約、請負業者の指名・入札など	
市 民 課	市民係	転入転出等、住民票、戸籍、印鑑登録など	32-0514
	国保年金係	国民健康保険、国民年金、後期高齢者医療、公費医療など	32-4004
税 務 収 納 課	市民税係	市県民税、国民健康保険税、軽自動車税の賦課など	32-0513
	資産税係	土地・家屋・償却資産の評価、固定資産税の賦課など	32-1008
	納税管理係	市税・国民健康保険税の徴収・滞納対策、市税等諸証明の交付など	
秘 書 政 策 課	秘書広報係	秘書、広報、シティプロモーション、ホームページ、表彰など	32-0512
	政策推進係	総合計画、総合戦略、広域行政、人材育成、国際交流など	
財 政 課	財政係	予算編成、執行管理、財政計画、行財政改革、地方交付税、市債など	32-0590
まちづくり推進課	地域振興係	定住促進、自治会、犬鳴川河川公園・2000年公園管理など	32-0773
	企業誘致推進係	企業誘致など	
こども家庭課	子育て支援係	児童手当、児童扶養手当、家庭児童相談など	32-0517
	保育係	保育所、学童保育など	32-0517
	母子保健係	予防接種(児童)、母子健康手帳交付など	32-0570
健 康 福 祉 課	健康対策係	健康づくり、各種保健事業、予防接種、精神保健など	32-1177
	障がい者福祉係	障がい者(児)福祉など	32-0541
	高齢者福祉係	高齢者福祉、介護保険、高齢化対策など	32-0515
	地域包括支援センター	介護予防ケアマネジメント、高齢者の総合相談支援など	33-3456
保 護 人 権 課	事務係	生活保護に関する事務など	32-9377
	保護係	生活保護に関することなど	
	人権福祉係	人権・同和対策、男女共同参画、隣保館など	
環 境 保 全 課	地域福祉係	民生・児童委員、社会福祉協議会、地域福祉計画、戦傷病者遺族等援護など	32-0562
	環境衛生係	じん芥施設、衛生施設に関すること、犬の登録など	32-0516
	環境対策係	環境基本計画、火葬場、不法投棄対策、脱炭素社会など	
産 業 観 光 課	商工振興係	商工業の振興、消費生活、雇用促進など	32-0519
	観光推進係	観光振興、ふるさと納税、特産品開発促進など	
	公共交通対策係	公共交通など	
農 政 課	農林対策係	林業経営の改善、林業生産の基盤整備、有害鳥獣駆除、荒廃森林対策など	32-0518
	農業振興係	農業経営の改善、地域農政推進、認定農業者、農業共済など	
土 地 対 策 課	用地係	用地取得、登記、市道の認定、道路台帳、占用使用許可、屋外広告物など	32-0569
	国県道整備対策係	県道の整備に関することなど	32-0566
	国土調査係	地籍測量、地籍図作成、地籍簿作成など	
建 築 都 市 課	建築係	建築物の出願処理など	32-0955
	都市計画係	都市計画、建築協定、緑化対策、空き家対策など	
	住宅管理係	市営住宅の入退去、市営住宅の維持管理、住宅改修助成など	
土 木 建 設 課	維持係	道路、河川、下排水維持管理、土木災害復旧、交通安全施設など	32-0799
	建設係	土木施設の新設改良工事など	
	農業土木係	農業用施設等の維持管理、土地改良、災害復旧、林地崩壊防止事業など	
下 水 道 課	下水道係	下水道工事施工管理、設計、事業計画など	32-3159
	管理係	下水道資産管理、使用料、浄化槽設置助成など	
会 計 課	会計係	各種料金の支払い窓口、公金経理、資金管理など	32-3323
水 道 課	業務係	水道料金に関することなど	32-1005
	給水係	水道の給水など	
	浄水係	浄水場の維持管理など	
学 校 教 育 課	教育総務係	幼稚園・小中学校の維持管理、スクールバスの運行、教育財産の管理など	32-1007
	学校教育係	児童・生徒就学、奨学金、通学区域、学級編制、教育支援センターなど	32-1007
	学校給食係	学校給食、学校給食施設の維持管理など	34-5525
社 会 教 育 課	公民館・スポーツ振興係	公民館・スポーツ施設の管理運営、社会体育、学校体育施設開放など	32-0123
	社会教育・文化推進係	図書館、青少年の健全育成、生涯学習、文化財、文化振興、人権教育・啓発など	32-3210
議 会 事 務 局	議会係	市議会に関することなど	32-1135
農 業 委 員 会	農業委員会事務局	農地等の利用関係、農地法、農業者年金など	32-3553
監 査 事 務 局	監査事務局	監査委員・公平委員会に関することなど	32-1004

若宮総合支所 TEL 0949-52-1111 (代) FAX 0949-52-3119

課 名	係 名	業務内容	電話番号
市 民 窓 口 課	市民窓口係	転入転出、住民票、戸籍、税の収納証明、国民健康保険、国民年金、児童・母子福祉、ごみ、し尿など	52-1111

宮若市民憲章

制定年月日
H 20. 2. 22

私たちの宮若市は、緑輝く自然や誇りある歴史と伝統を先人より受け継いできたまちです。
このまちを愛する私たちは、将来の夢や希望を実現できる「輝くふるさと」を目指し、ここに市民憲章を定めます。

一 みどり豊かな自然を愛し、美しいまちをつくります。

一 歴史と伝統に学び、文化の薫り高いまちをめざします。

一 互いに助けあい、やすらぎのあるまちをめざします。

一 活力に満ちた産業を育み、働きやすいまちをつくります。

一 ふるさとを愛し、誇れるまちをつくりま

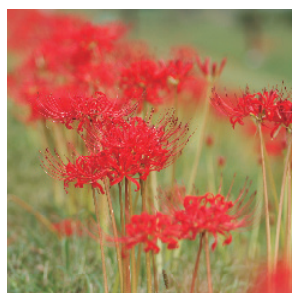
市章



「み」の文字をモチーフに、市民が明るく輝き、飛躍している様子を表しています。

制定年月日 H 18. 2. 11

市の花



彼岸花

どんな天候でも花を咲かせ、堅実な歩みを目指す宮若市を表しています。

制定年月日 H 20. 2. 22

市の木



桜

河川敷や公園などに植えられ、市民の皆さんに親しまれています。

制定年月日 H 20. 2. 22

宮若市歌「輝くふるさと」

制定年月日
H 25. 2. 11

安らげる人がいる 癒される緑がある
そして輝く 歴史がある
宮若市温かいふるさと
宮若市輝くふるさと
さあここへお出でよ
共に輝く未来を築こうよ

風が優しさを連れてくる
水が命を授けてくれる
人は思いやりに溢れ 街は喜びに包まれる
そんな街だよ 大好きな街だよ
君と一緒に見つめたい 歴史と夢と未来を
安らげる人がいる 癒される緑がある
そして輝く 歴史がある
宮若市温かいふるさと
宮若市輝くふるさと
さあここへお出でよ
共に輝く未来を築こうよ
輝くふるさとを築こうよ



宮若市役所 秘書政策課 政策推進係
〒823-0011 福岡県宮若市宮田29番地1
TEL 0949 (32) 0512
FAX 0949 (32) 9430
URL <https://www.city.miyawaka.lg.jp/>
E-mail seisaku@city.miyawaka.lg.jp